**教育福祉会館耐震改修工事後の活用に関する官民協働検討委員会グループワーク**

平成３０年１０月３日（水）

**１．教育福祉会館の現状と課題**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 階 | 施設 | 利用者 | 所管 |
| １・２階 | 老人福祉センター | 高齢者（６０歳以上） | 保健福祉部（市長部局） |
| 地域福祉センター | ボランティア団体等 |
| 障害福祉就労支援センター | 障害者等 |
| ３～５階 | 公民館 | 市民（登録団体等） | 生涯学習部（教育委員会） |

それぞれの領域（施設）で，それぞれの利用者が独自に活動している。

○施設の位置づけ（条例や規則に規定）による違い

○部屋の利用ルールの違い（利用方法，利用時間，有料か無料か，など）

教育福祉会館で，教育と福祉の枠組みを超えて「教育福祉連携」を進めることで，柏市における学習成果を生かした地域づくり，地域福祉の実践につながる活動内容，連携方法のあり方について検討していく。

**ハードのメンテナンスを新たなソフトのスタートに**

**２．今後の進め方（スケジュール）**

運営方針の確定・委員会解散

リニューアル・オープン

第２回官民協働検討委員会

第１回官民協働検討委員会

　（パブリックコメント）

グループワーク②

グループワーク①

次年度も，具体的な運用方法等について，継続して検討していく

10/3

H31.

３月

10/30

H31.

１月

H33.

１月

11/26

8/318

**３．官民協働検討委員会での意見**

|  |
| --- |
| （キーワード１）教育福祉会館を一体的に考える　⇒　横串，縦串を刺す |

①教育と福祉を連動させるソフト（使い方）が必要

②横串，縦串がポイント。市の行政との連携必要

③横断的な壁を取り払うような人と人とのつながりを大切にできる場所になればいい。

④２階以下の予約方法と３階以上の予約方法が異なる。一体化されると良い。

⑤館全体としての課題，使用方法等総合的な施設のあり方を決めていく必要がある。

⑥公民館の役割は福祉も含めて全部，地域のことをやっていく活動がある。

⑦学びを社会，福祉理解，福祉分野の地域活動などに生かせる場になれば良い。

⑧ボランティアしたいという方は増えているが，グループに飛び込んでいくのが難しい実態があり，結果的に個人での活動を選択する流れがある。一方で自分のための社会的参加，その先に他人のためになる活動が見えてきて，結果としてボランティアになる流れもあり，福祉と教育が連動すれば，その流れがより円滑に回っていく感じがする。

⑨組織に横串，縦串を刺していくのか，あるいは，組織を融合させていきながら別の全体を所管するところの直轄となるのか，合議体を作ってそこが運営するのかどうかの検討など，市で策定している総合計画との関係も踏まえて検討することも含めて，今後の館の使い方とかも議論していくことも必要

|  |
| --- |
| （キーワード２）近隣センター等他の施設とのすみ分け・役割分担を考える　　　　　　　　　　⇒　中央から地域へ発信，バリアフリーの拠点 |

①中央地区には行政の子育てを支援する場や乳幼児から高齢者まで一堂に集まれる場所がない。教育福祉会館が市役所に近い便利な場所ということを考え，うまく機能するつながりの場が必要

②場所の利便性という点で，どこに相談に行ったらいいか分からない狭間にいる人などをつなぐ役，場所として，総合相談機能がここにもってこれたらいい。

③「情報・安心・交流の拠点」という３つのキーワードが当てはまると思う。

④話が広がる，人が次に進んでいくことができる場所になればいい。

⑤町会と町会との交流とかをつなげていくような，教育福祉会館に情報を集めて発信する，ここから出ていくという流れ，つながりみたいなものを作っていければよい。

⑥柏市に一つとなった中央公民館の役割は大きいと思う。

⑦近隣センター，パレット柏との違い（あり方），方向性を議論したほうがよい。

⑧さまざまな活動をつなぐ中間支援的な部分が大きな役割としてあると思う。

⑨近隣センターやふるさと協議会等を結びつけるハブになっていくとか，人材育成をしてあちこちに届けていく中心になったりというような構想になっていけばよい。

|  |
| --- |
| （キーワード３）個人の満足，特定の利用から共生のための利用を考える　　　　　　　　　　⇒　地域共生社会の実現，地域の人が主役になるまちづくり |

①退職後の元気な高齢者が働かなくても行くところがなくずっと家にいる。既存のグループには入りにくい，サロンでは物足りない。何かやりたいという声を生かせる場になるとよい。

②多世代がさりげなく交流する場で，教育と福祉がミックスするソフトが動けばよい。

③高齢者が増えているのに老人クラブの加入者が減少している。自分たちの欲求を満たすために，スポーツ，イベント，カラオケだけでいいのか。地域のリーダーとして貢献していくとか意識を持ってもらえれば，大きな喜びを感じることができるのでは。

④引きこもりの高齢者が問題になっている。多世代が交流する機会，仕事の体験やボランティアとして参加できたり，社会参加できる機会が生まれる場所になればいい。

⑤子どもに高齢者と触れ合う機会は大切。幼稚園の園外学習や特別支援学校の障害者がここに来て，高齢者のサークルと触れ合える授業ができると良い。差別意識もなくなる。

⑥子どもたちから焦点化していく。その中に高齢者の生きがいや学び直し，活躍できる場。多世代交流により子ども達にさまざまな社会体験をしてもらい，人生設計できる力をつけてやることが必要。高齢者，障害者，子どもの福祉と教育を結びつけ地域の人が主役となるまちづくりの議論が重要。

**４．グループワーク全体の流れ**

【共通テーマ】耐震改修工事終了後の施設の活用について，互いの立場を超えた意見交換の場

＜第１回グループワーク＞１０月３日（水)

|  |  |
| --- | --- |
| 時　間 | 作　業　内　容 |
| １４：２０～１５：００ | 教育福祉会館見学説明会（主に２階～３階） |
| （休憩，移動） |
| １５：００～１６：５０ | 分野別グループワーク＜教育分野＞　公民館のあり方と学びによる地域づくりの検討＜保健福祉分野＞　障害者の社会参画支援，元気な高齢者と子育て支援の検討 |
| １６：５０ | グループごとに解散 |

＜第２回グループワーク（予定）＞１０月３０日（火）

|  |  |
| --- | --- |
| 時　間 | 作　業　内　容 |
| １４：００～１６：００ | 分野別グループワーク |
| １６：００～１６：３０ | ワールドカフェ形式による意見交換タイム |
| １６：３０～１７：００ | 全体での意見交換閉会・あいさつ |

※２回のグループワークで皆さまからいただいたご意見をもとに，第２回検討委員会では一体的な視点で意見交換を行います。